

防災について話し合おう

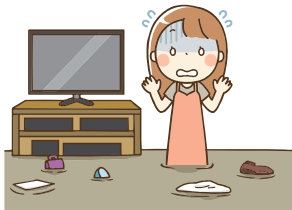
避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

市町村が作成しているハザードマップ等を用いて、お住まいの地域の危険箇所を調べ、家族や地域の方と避難場所や避難する道順を話し合っておきましょう。避難場所に避難するだけでなく、安全な親戚・知人宅へ避難することも考えてみましょう。



話し合う際のポイント（例）

① 自宅は安全か。



② 避難場所はどこか。



③ 地域の危険場所はどこか。



④ どの道を通して避難するか。



⑤ 子どもやお年寄りはどうやって避難するか。



⑥ 非常持ち出し品を準備しているか。



避難ルートを歩いてみよう

休日などを利用して、自宅から避難場所まで実際に歩いてみましょう。川のそばや崖に近い道、橋などはできるだけ避け、安全なルートを探してください。災害時の状況によっては、通路が通行止めになる可能性もあるので、複数のルートを考えておくと安心です。

